

平城宮跡の桜がピンチ!!

「平城宮跡桜見守り隊」募集 (ボランティア)



特定外来生物

クビアカツヤカミキリ

体長2.5cm～4cm



サクラ・ウメ・モモなどの木の内部食い荒らし、樹木を枯らしてしまいます。被害を拡大させないため、成虫、フラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）を発見したら、駆除と情報提供が必要です。
現在、防ぐ方法はありません。
早期発見が被害の拡大を防ぎます。

平城宮跡桜見守り隊の活動

- 活動内容：平城宮跡内の桜の木の観察（約120本）
（桜の木を観察して **フラス**（木くずなど）を見つけるボランティア活動です）
- 募集人数：4名（2人一組で活動します） 募集期間：2023年3月末日
- 活動期間：2023年5月～10月（月2回の活動）
- 活動時間：午前9時～11時
- 講習について：活動初日に簡単な講習を行います。
- 問い合わせ、申し込みは 下記へお願いします。

NPO平城宮跡サポートネットワーク ☎0742 (34) 7713

e-mail: npoheijou@yahoo.co.jp

緑の保全部会 部会長 三宅 敦夫 ☎090-3943-9141

特定外来生物 クビアカツヤカミキリ

特定外来生物のクビアカツヤカミキリの被害が2019年に奈良県で確認されました。

クビアカツヤカミキリは、サクラ、ウメ、モモなどのバラ科の樹木を食害し、枯死に至らせる昆虫です。

防除方法は、伐採以外の方法での100%駆除は難しく、被害の確認が遅れると、防除するための費用も手間もかかり、完全防除が困難になります。

奈良県では南部地域から被害が出始め、現在、葛城市、御所市、五條市、明日香村、橿原市、天理市で被害が確認されています。

早期発見、早期防除を行うことが、奈良市内のサクラなどの被害を拡大させないためには大変重要です。

被害を最小限に抑えるためには、できるだけ多くの「目」で確認し、クビアカツヤカミキリの侵入にいち早く気づくことが必要です。

平城宮跡サポートネットワーク緑の保全部会では奈良県水循環・森林・景観環境部 景観・自然環境課の依頼を受けて、2021年から観察を続けています。



幼 虫(約 4 cm)



フラス

幼虫のフンと木くずが混ざったもの